

# 子どもとともに 本をひらこう 未来のページ (『大洲市子ども読書活動推進計画』より)

## 保護者の皆様へ

家庭は、子どもが最初に本と出会う場所です。日常生活において、すぐ手に取れる場所に本を置く、保護者が一緒に読書を楽しむなど、子どもが自然に読書に親しむことができる環境づくりが必要となります。「うちどく」は読書を通して家族のコミュニケーションを図ろうという試みです。読んだ本について家族で話すことで、子どもも大人も一緒に成長し、心の豊かさを育むことができます。また、読書で共有した時間は、子どもにとっても親にとっても大切な思い出となるでしょう。

子どもの未来をひらく「うちどく」を、一緒に始めてみませんか？



「うちどく(家読)」とは、家族で読書をする事。  
家族みんなで本を読んで、その本について話したら、それが「うちどく」です。

「うちどく」で家族のきずなを深めましょう！

問い合わせ先

大洲市立図書館

TEL : 59-4111 FAX : 59-4123

URL : <http://library.city.ozu.ehime.jp/>





「うちどく」に決まったやり方はありません。たとえば、する日や時間を決めるとか、テレビやゲームはつけないとか、読む本のテーマを決めるとか、生活スタイルに合った“わがやの「うちどく」ルール”を作ってみましょう。

**かぞく ほん よ  
家族で本を読もう!**

いえ ほんだな がっこう としょつ 家の本棚、学校の図書館、市立図書館や本屋さん。町には本がたくさんあります。家族みんなで図書館や本屋さんに行くのもいいですね。素敵な本との出会いが待っていますよ。



おおすしりつとしょかん かい 大洲市立図書館2階  
子育て支援コーナー内に  
うちどくコーナーがあります。

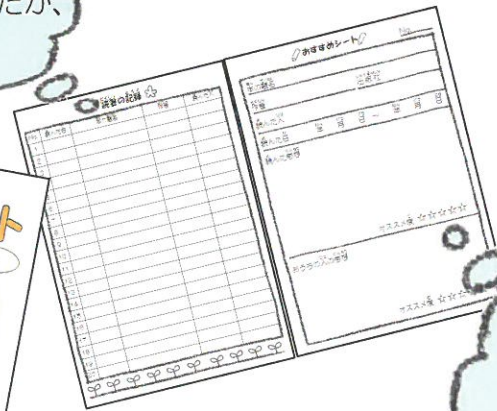
**よ ほん はな  
読んだ本について話そう!**



おもしろ ほん み 面白い本を見つけたら、家族に教えてあげましょう。一緒に読むと、その本をもっと好きになれるかも! 読み終わったら、どんなことを感じたか、話し合ってみましょう。

**よ ほん きろく  
読んだ本を記録してみよう!**

どんな本を読んだか、記録しよう!



おもしろ ほん はな 面白かった本は感想も書いてみよう! おうちの人にも書いてもらってね。



おおすしりつとしょかん 大洲市立図書館オリジナルの“うちどくノート”と“おすすめブックリスト”も用意しています。図書館のホームページからダウンロードできます。